



若竹だよい

- 【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切にする人間となろう
 ③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八カ所巡礼者無料宿泊＆お接待 ②講演会・シンポジウム

【巻頭言】

地震はいつくるかわからない

園長 宮脇 景子

8月8日、日向灘沖で発生した地震により、けがや住宅の損壊など被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。

今回の地震の状況をうけ、気象庁が初めて「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」を発表しました。当園でも災害対策の準備をしていましたが、すぐに再確認をし、備蓄等の再検証をしました。準備物のさらなる充実を求めてとある店舗を訪れると、大勢の人が防災グッズや備蓄品を買い求めており、そのコーナーだけ品切れ状態でした。

今年のお正月には、石川県能登地方を震源とする最大震度7の地震があり、揺れや津波、大規模火災も発生し、たくさんの犠牲者が出了ました。しかし、年始の店舗では品切れの状態にはなっていませんでした。「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」の影響力を実感したとともに防災意識の維持の必要性を痛感しました。

8月19日から22日に当法人の施設と児童が石川県能登地方へ災害ボランティアに行きました。当園からは防災担当の職員1人のみの参加でしたが、たくさんの刺激と経験を得ることができたと凜々しい表情で語っていました。

今回、改めて地震の怖さと「準備」の大切さを痛感しました。毎月の防災訓練等を通して子どもたちや職員に防災意識が少しでも高まるようにしていきたいと思います。

キャンプ＆飯盒炊飯

8月5、6日でかずら橋キャンプ場へキャンプに行きました。キャンプ場へ移動の途中で、昼食のバーベキューのスペシャルメニューの材料購入のためにスーパーに寄りました。それぞれのフロアメンバーで話し合いながら買い出しをしました。

キャンプ場へ到着し、テント設営をした後、早速川遊びをしました。昨年とは別のキャンプ場だったため、子どもたちは興奮し、楽しく遊んでいました。バーベキュー、スイカ割りをした後に突然の豪雨と雷に見舞われました。天候が回復しない中、子どもたちの安全を優先し、キャンプを中止し、帰園という苦渋の決断をしました。



6日は、キャンプで出来なかった飯盒炊飯をし、カレーを作って食べました。



88クリーンウォーク四国

8月8日に88クリーンウォーク四国の活動に参加しました。88クリーンウォーク四国は、四国の道路を「もっときれいに、気持ちよく」の思いをひとつにしたボランティア行事です。

清掃活動として五色台周辺道路を子どもたちと一緒にごみ拾いをしました。道路の溝などにタバコやペッドボトルなどが落ちていました。その光景を見た子どもたちは「ちゃんとごみ箱に捨てて欲しいな」、「何でごみを捨てるんやろう」と話していました。1時間の活動で約1.2kgのごみを拾いました。

子どもたちはもちろん、子どもたちの見本となる大人も考えさせられる活動となりました。



善通寺市民プール

8月16日、21日の2グループに分けて善通寺市民プールへ行きました。「夏休みはみんなでプールに行きたい」と子どもたちの希望があり、計画をしました。初めてウォータースライダーを滑った男の子は1回滑ると「やば、めっちゃ面白かった。もう1回やってくる」と言い、結局何回も滑っていました。また、女の子は流れるプールでゅったり過ごしていました。来年もぜひみんなで行きましょう。



職場体験

8月22日の午前中に中小企業家同友会の企画で職場体験に参加しました。この職場体験に参加したいと希望した4人の中学生たちが職場を選び、3社に分かれて体験しました。

製造業を選んだ子どもたちは熱心に参加し、たくさん疑問や質問をしていました。幼稚園を選んだ子どもたちは園児と一緒に遊んだり、給食の食事補助をしたりしていました。販売業を選んだ子どもたちは、販売用の箱を折り、異物が入らないように注意しながら作業を行っていました。子どもたちは、「大変だった」、「疲れた」と言っていた一方で「めっちゃ楽しかった」、「(職場体験に) 参加できて良かった」と話をしてくれたのが印象的でした。



フットサル

8月23日に東部運動公園へ行き、フットサルをしました。今回は子ども7人、職員4人の計11人で試合をしました。暑く、そして熱い試合となつたため、しっかり水分補給の休憩をしながらフットサルを楽しみました。普段のグラウンドとは違い、人工芝でボールを蹴る感覚や走る感覚が心地よく、子どもたちもいつも以上に積極的に走ったり、蹴ったりしていました。フットサルを楽しんだ帰りの車中では、全員が寝るほどしっかり楽しむことができました。



カラオケ大会

8月25日に第1回わかつたけカラオケ大会を行いました。猛暑のためグラウンドで長時間遊ぶことはできません。そのため、カラオケを楽しむ子どもたちを見て、練習の成果を発揮する場が必要だと考え、計画をしました。

カラオケ大会のルールは、1人2曲ずつ歌い、その最高得点で競いました。6人の参加児童が優勝を目指し、競いましたが、80～90点台の得点が連発するハイレベルな大会となりました。



能登半島地震災害ボランティア

8月19日から4日間、能登半島地震の災害ボランティアに参加しました。同法人の亀山学園の職員、児童と一緒に参加してきました。ボランティアセンターに行くまでの道中で道路が寸断されたり、建物の崩壊した光景を目の当たりにし、心が締め付けられる思いをしました。

ボランティアの内容としては、隆起した海岸線の砂浜の清掃活動を行いました。また、被災された方からボランティアの方が来てくれるに感謝をしていると話があり、胸が熱くなりました。

今後、南海トラフ地震の発生が予測されていますが、今回の経験を活かせるようにしていきたいです。



防災センター訪問

8月27日に香川県防災センターに行き、災害の体験をしました。

まずは、DVDを視聴しながら災害の怖さを見て学び、次に消火器訓練をしました。子どもたちは消火器訓練の経験があるため、とても上手に消火できていました。



そして、煙中体験と地震体験もしました。煙中体験をした子どもたちは「全く見えんかった」、「足もとに何かあたら絶対転ぶわ」、「火事ってやばいな」など不安や恐怖を語っていました。最後に震度7の体験をし、あまりの大きな揺れに子どもたちは言葉を失っていました。

南海トラフ地震が予測されており、いつ来るか分からない恐怖と向き合っています。まずは子どもたちの命や安全を優先した対応や対策をしていきたいと思います。



花 火

子どもたちと今夏の思い出に花火をしました。また、坂出まつり、高松まつりの花火も見ました。



サプライズ行事

8月27日に今夏の最後の思い出として、職員からのサプライズ行事をしました。まず1つ目のサプライズとして昼食を夏祭り風のバイキング形式にして、子どもたちが好きな料理を作り、子どもたちを出迎えました。料理だけでなく、デザートとしてチョコバナナやべっこう飴、ドーナツも用意しました。子どもたちは興奮気味に料理を取り始め、あっという間に料理はなくなりました。子どもたちは「このドーナツ、ふわふわでめっちゃうまい」、「毎日（この料理を）出してほしいわ」と言っていました。



また、上司から職員へのサプライズで日頃の労を労うささやかなプレゼントもありました。素敵なメッセージも添えられていました。

そして、もう1つのサプライズ行事として、肝試しをしました。キャンプで肝試しをする予定でしたが、天候不良でできませんでした。そのため、今回は分校の協力を得て、分校が肝試しの舞台となりました。子どもたちは期待と不安で気分高揚しながら肝試しをしました。普段聞いたことのない声を出す子ども、腰を抜かす子どもが続出で、大成功に終わりました。



8月行事

8月5、6日	キャンプ
8月8日	88クリーンウォーク四国
8月16、21日	善通寺市民プール外出
8月19日～22日	災害ボランティア
8月22日	職場体験
8月25日	カラオケ大会
8月27日	サプライズ行事

在籍人数

令和6年9月1日現在

区分	県内(人)	県外(人)	合計(人)
小学生	4	0	4
中学生	6	2	8
合計	10	2	12

編集後記

長かった夏休みが終わり、いよいよ2学期が始まります。8月を振り返ると猛暑が続き、暑さとの戦いでした。また、南海トラフ巨大地震注意情報が初めて出たり、先月末に大型台風が来たりと自然や環境の脅威を感じた夏でした。子どもたちとも自然との共生について考える機会を作り、当たり前の日々がいかに大切なことを考えていくべきだと思います。

新型コロナなどの感染症が流行しているので健康には十分注意しながら、子どもたちが伸び伸びと生活できるようにしていきたいと思います。（栗山）

第451発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

T E L 087-882-1000 F A X 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp>

Eメール wakatake@4on.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 宮脇 景子

